



生と性を考えよう！通信

第15号

平成30年3月

旭川市保健所 健康推進課保健予防係

今回のテーマ
H I V / A I D S について考えよう！



旭川市シンボルキャラクター※
あまのび

H I Vカスケード「90-90-90」

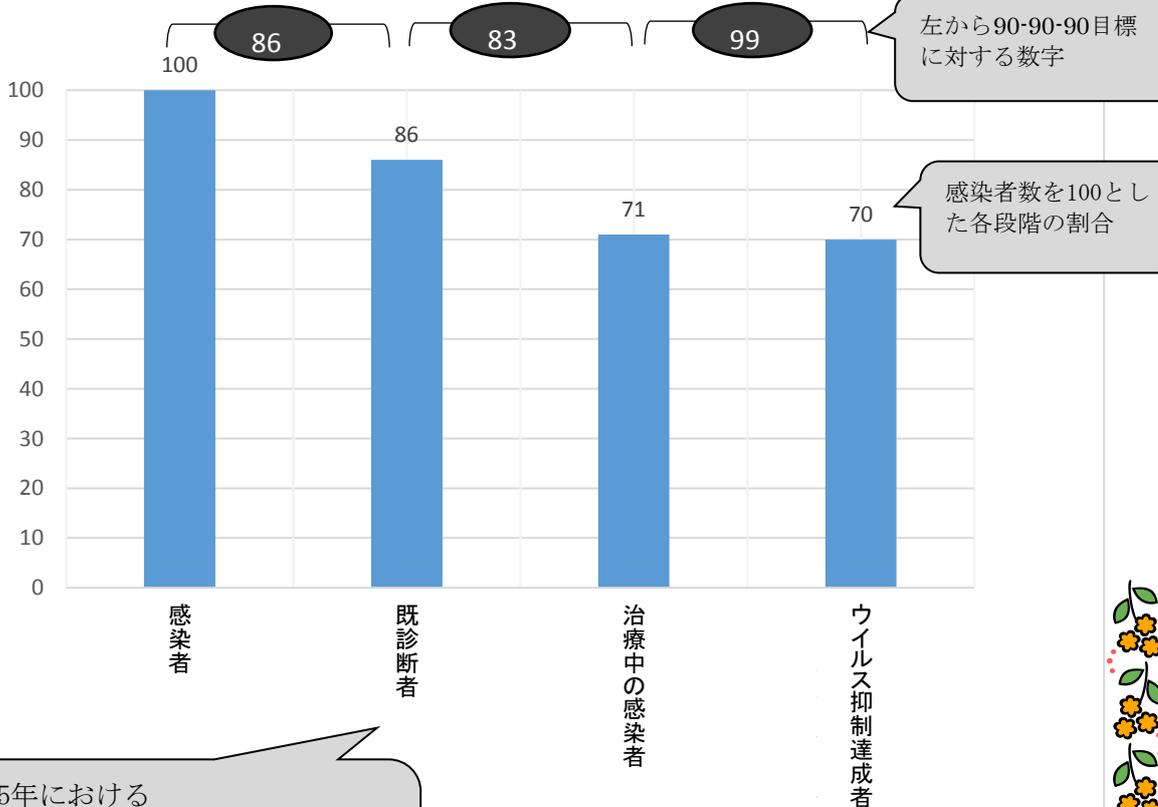
H I Vの流行を制御するためのグローバルな戦略目標

(国連合同エイズ計画が掲げた目標で、2020年までに3つの90%を達成する)

- (1) 感染者の90%以上が診断を受け感染を自覚すること (診断率)
- (2) 診断を受けた感染者の90%以上が治療を受けること (治療率)
- (3) 治療中の感染者の90%以上で血中ウイルス量を抑制すること (ウイルス抑制率)

この3つ全て90%達成すると、感染者全の治療の成功率を格段に引き上げることができる。¹⁾

日本では90-90-90-目標はどうなっているのか？



2015年における
日本の未診断者数
(感染しているのに気づいていない人)
推計3,830人



緊急速報！！HIV/AIDSが旭川で急増！！

“いきなりエイズ”を知っていますか？

「体調がすぐれないので病院を受診したところ、HIVに感染していて、すでにエイズを発症していることがわかった」これが“いきなりエイズ”（エイズ患者）です。

日本国内においても、新規HIV感染者のうち約3割が“いきなりエイズ”の状態で見つかっています。HIVに感染していることに気づかず、平均8～10年の潜伏期間を過ごしていたことになり、潜在的なHIV感染者が他にも存在する可能性もあります。

HIVに感染すると多くの場合2～3週間後に、HIV感染初期症状（急性感染症状）として、発熱、リンパ節の腫れ、頭痛、せき等の風邪やインフルエンザに似た症状が現れます。その後長期間の無症候期に入ります。さらに、エイズを発病すると、ニューモシスティス肺炎、サイトメガロウイルス、カンジダ症、結核等になることがあります。こういった症状が出た際、HIV検査をすることで、適切な治療につなげることができます。²⁾

表1 旭川市保健所へのHIV/AIDS届出数

	H25	H26	H27	H28	H29
HIV感染者	3	2	1	0	4
エイズ患者	1	2	0	0	6

平成29年は10件、これは統計を取り始めて以降過去最大の報告数。
このうち、“いきなりエイズ”は6件も！

図1 HIV/エイズ年次推移(全国)

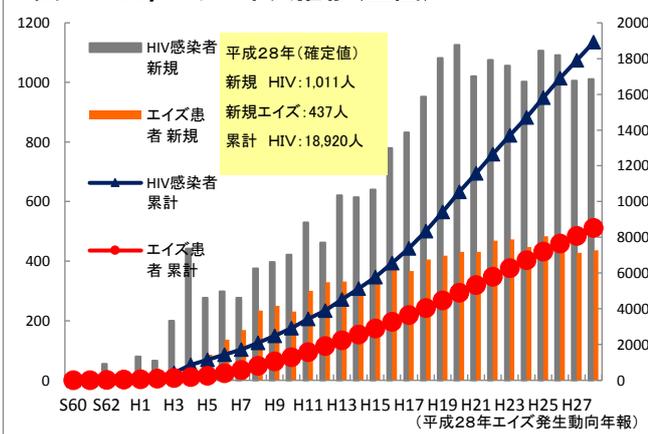
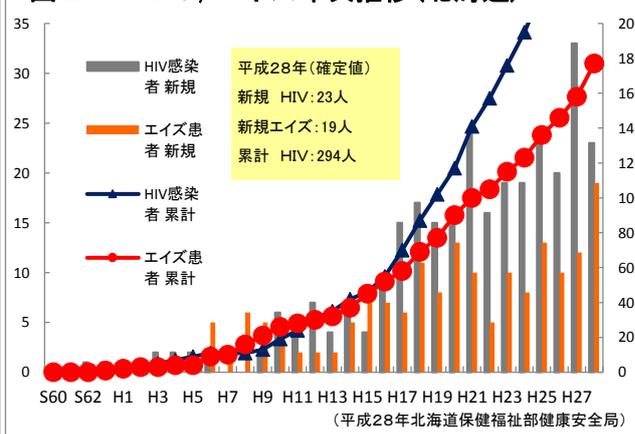


図2 HIV/エイズ年次推移(北海道)



HIVコラム:「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」の全部改正から考える今後の課題 旭川市保健所 主幹(医師) 青木 瞳

近年、HIV・エイズを取り巻く環境は変化しています。治療薬の進歩により、感染者の予後は改善し、また治療による体内のウイルス量の減少は、大切な家族やパートナーへの感染リスクを低下させる(Treatment as Prevention: T as P)ことも明らかとなっています。

一方、「HIVは怖い病気だ」という認識は残っており、HIV感染者の診断・治療の遅れにつながっている要因の1つとなっています。

これらの流れを踏まえ、平成30年1月18日に厚生労働省は、「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」を全部改正しました。この指針は、国や各自治体、医療関係者や関係機関等が連携してエイズ対策を進めていく行動指針です。

この改正では、先述したT as Pのことや、医療・介護の現場では、HIVは他の感染症同様、標準予防策(スタンダード・プリコーション)で感染予防できることが明記されています。また、HIV検査の同意に関しては書面が必須ではなく、口頭による同意も可能であることも留意事項として挙げています。

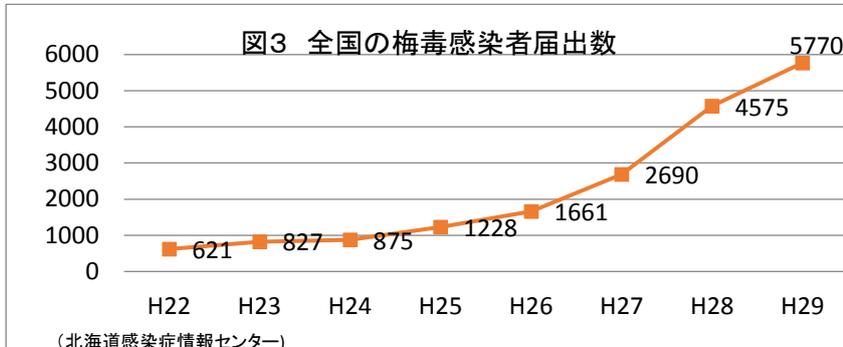
私たちは日頃HIVの予防や正しい知識の普及啓発に努めていますが、この改正を受けて、市民に正しい知識を普及しようとしている私たち自身が、HIVを何か特別な疾患として無意識に扱っているのではないかと考えさせられました。皆さんはどうでしょうか。私たちがまず、少し意識を改めて行動すれば、市民の意識の改善や、感染者の方々のより良い社会生活につながるのではないかと思います。

続報！！梅毒！！

梅毒については、前号でもお伝えしましたが、全国的に梅毒の流行は続いており、昭和48年以来44年ぶりに5千人を超えました。道内でも2年連続で100人を超えています。

旭川市内での梅毒感染者は平成27年6件、平成28年25件、平成29年18件です。

年齢は、各年代から患者が出ており、感染経路は風俗の利用だけでなく、パートナー間の感染も多くなっており身近なものとなっています。



5年間で約7倍！！
男性は20～40代、
女性は20代前半が多い。
男性異性間では、早期顕症1
期が半分以上、女性異性間、
男性同性間では無症候の割
合が高かった。

表2 梅毒報告件数の年次推移(北海道感染症情報センターより)

	H25	H26	H27	H28	H29
北海道	22	58	64	117	110
札幌	17	27	30	59	74
旭川	1	1	6	25	18

全道的には、高止まり傾向であるが、札幌市では増加、旭川市は減少したものの依然として高い状況。

表3 旭川市保健所への梅毒報告、年代別内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
H28	5	4	6	3	4	2	1	25
H29	3	5	0	3	2	3	2	18

旭川市では、各年代幅広く、感染者が出ています。
性別では、H29年は男性12件、女性6件。

梅毒検査はじめました！！

旭川市保健所では、平成29年10月から、梅毒検査を実施しています。

HIV検査と同時に、無料・匿名で受けることができます。検査方法は血液検査で、STS法を採用しています。結果は約1時間後に分かり、その場で本人にお伝えいたします。

【保健事業のご紹介】

詳細については、旭川市保健所健康推進課保健予防係まで

エイズ性感染症出前講座

最新の性感染症のデータをそろえ、現状を伝えると共に身近なものと感じられるよう中学、高校、各種専門学校、大学の学生を対象に、エイズ・性感染症予防について、保健所保健師などが出前講座を行います。

エイズ・STD予防に関するDVD・パネル等の貸し出し

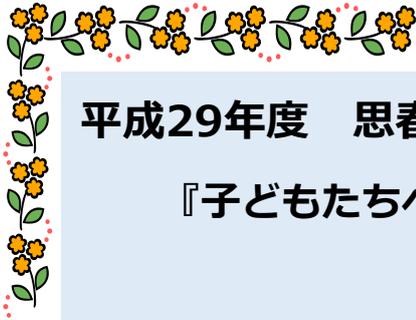
HIV・エイズに関するDVD、パネル、健康教育用具の無料貸し出しを行っています。

HIV検査・梅毒検査

無料・匿名・結果は即日30～60分
HIV検査・梅毒検査を月4回実施しています。
休日・夜間にも実施しています。完全予約制。
予約はエイズ専用相談電話で受け付けています。
TEL: 0166 - 26 - 8120

エイズ専用相談電話

エイズ・性感染症、その他性に関する相談を受付けています。
TEL: 0166 - 26 - 8120
受付時間: 平日 8:45～17:15



平成29年度 思春期性感染症予防講演会

『子どもたちへの性教育について考える』

～性感染症から若者を守るために～

平成29年10月4日（水），旭川市大雪クリスタルホールで，思春期性感染症予防講演会を開催いたしました。この講演会は，性教育・性感染症予防教育に関わる情報を共有し，関係機関との連携の強化を図ることを目的とし，平成17年度より毎年開催しております。

第13回目を迎えた今回は，日頃から性教育や性感染症予防教育に携わる教育関係者及び医療従事者，保護者等，77名の参加がありました。

今回の講演会は，公益財団法人 性の健康医学財団理事長で東京大学名誉教授（泌尿器科医），天皇陛下の主治医を勤められた北村 唯一 氏，同財団理事で東邦大学名誉教授（助産師）の齋藤 益子 氏を講師に迎え，「最新の性感染症の診断と治療」「期待される家庭や教育現場における性感染症予防教育」について講演をしていただきました。

北村先生の講演では，梅毒，淋菌感染症，性器クラミジア感染症，性器ヘルペス，尖圭コンジローマ，エイズについて，貴重な症例写真を示しながら，どのような症状が出て，どのように治療するのか，分かりやすく教えていただきました。また，同財団で実施した「男性のHPVについて」の調査についての報告があり，性感染症とHPV感染との関連があることや，パートナー数が少ないほどHPV感染率が低いことなどが示されました。

齋藤先生の講演では，中高生の性に対する考えや行動実態についてのデータを基に，実際に中高生に対して行っている性教育の実践についてお話いただきました。人生で大切な三つの出会い「親との出会いは宿命的」「パートナーとの出会いは選択できる」「子どもとの出会いは親となる責任」というお話は，特に参加者の皆さんの心に印象深く残ったようです。

フロアからの質疑応答も活発に行われ，参加者の方からは，「性教育の重要性を強く感じました」「子どもに聞かせたい内容ばかりでした。」というご感想をいただくなど，大変充実した講演会となりました。

なお，今回の講演会の抄録がありますので，ご興味のある方は，お問い合わせください。³⁾

—今号で引用及び参考とした文献・資料等—

- 1)Japanese Network of People Living with HIV/ AIDS NEWS LETTER No.34
- 2)HIV感染症診断・治療・看護マニュアル改訂第11版 北海道大学病院HIV診療支援センター
- 3)平成29年度思春期性感染症予防講演会抄録

○本誌に関するご意見，ご要望，お問い合わせは，下記連絡先まで。

旭川市保健所健康推進課保健予防係 TEL：0166-25-9848 FAX：0166-26-7733

